

行きたい想いが加速する

名大研究室の扉 in 河合塾

中学生・
高校生・高卒生
保護者様対象

参加無料 要申込

2022年
第49回
文学部

世界は複数存在する？ — 文化相対主義と自然相対主義 —

日時: **9月11日(日)** 14:00~16:00

会場: **河合塾 千種校**

講師: **佐々木 重洋 教授** (人文学研究科 文化人類学分野)

大学院生: ・人文学研究科 美学美術史学専攻 (西洋近代絵画史)
・人文学研究科 西洋古典学専攻 (古典古代末期の叙事詩文学)

- 内容
- ①名大教員による最先端研究についての講演(約50分)
 - ②大学院生による大学生活や研究についての講演(約40分)
 - ③講演者や大学院生と参加者による懇談会(約25分)

講演内容

グローバル化が進む今日、私たちの生活は、一見すると世界中で均質化しています。ところが、対立や紛争はこの世界から一向になくなりません。それどころか、最近では一部で自国・自民族中心主義が声高に唱えられ、自らの意に反する情報を「フェイク・ニュース」呼ばわりすることも横行しています。じつは、人間にとってこの世界の見方は決して単一ではありません。例えば、熱帯アフリカのいくつかの社会では「人間が動物になる」ことは常識です。本講演では、熱帯アフリカでのフィールドワークの様子を紹介しながら、世界の見え方が複数であると想定してみる、人類学的思考についてお話します。



年間スケジュール ※新型コロナウイルス感染症拡大防止対策に配慮して行います。また、今後の状況により中止になる場合もございます。

| | 講演会日時 | 学部 | 講演テーマ | 講師 | 会場 |
|------|-----------------------|------|---------------------------------|------------------------------------|---------|
| 第46回 | 6月26日(日) 14:00~16:00 | 工学部 | 欠陥に着目した最先端の物質科学 | まつなが かつゆき 教授 工学研究科 物質科学専攻 | 河合塾 千種校 |
| 第47回 | 7月 3日(日) 14:00~16:00 | 医学部 | 感染症とのたたかい | しばやま けいご 教授 医学系研究科 分子病原細菌学 | 河合塾 名駅校 |
| 第48回 | 9月 4日(日) 14:00~16:00 | 理学部 | 数学研究の一端章 | うへだ 植田 よしみち 教授 多元数理論学専攻 多元数理論学専攻 | 河合塾 千種校 |
| 第49回 | 9月11日(日) 14:00~16:00 | 文学部 | 世界は複数存在する？ — 文化相対主義と自然相対主義 — | ささき 重洋 教授 人文学研究科 文化人類学分野 | 河合塾 千種校 |
| 第50回 | 9月25日(日) 14:00~16:00 | 農学部 | 切れ味の良い分子を自然界に求めて | きた 北 まさき 教授 生命農学研究科 応用生命科学専攻 | 河合塾 名駅校 |
| 第51回 | 10月 2日(日) 14:00~16:00 | 経済学部 | 経済学をなぜ学ぶか? 経済学をどう学ぶか? | やなぎはら 柳原 みつよし 教授 経済学研究科 社会経済システム専攻 | 河合塾 名駅校 |

※今後内容が変更になる場合があります。あらかじめご了承ください。

申込方法 受付開始:第46~47回 6/1(水)、第48~49回 7/1(金)、第50~51回 9/1(木)

Webでお申し込みいただけます。下記の「個人情報の保護に関する事項」について」に同意されたうえで申し込みください。

- お子様のお名前・ご連絡先で登録・お申し込みください。●定員になり次第、受付を締め切らせていただきます。

Web インターネット申込

パソコン・スマートフォンから
<https://www.kawai-juku.ac.jp/event/spc/tokai/meidai/>

河合塾 名大研究室の扉

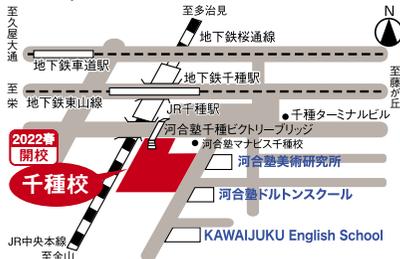


当日のご案内

- 当日はマスクの着用をお願いします。
- 会場は、校舎ロビー等の掲示板にてお知らせします。
- 事前にお申し込みでない方は、入場をお断りします。
- 筆記用具をご持参ください。
- 講演開始10分前までに会場へお入りください。
- ご来塾の際は、公共交通機関をご利用ください。

お問い合わせ先

河合塾 千種校 〒464-8610 名古屋市中千種区今池2-1-10
(052) 735-1588 (受付時間10:00~18:00)



「個人情報の保護に関する事項」について

河合塾グループは、ご記入いただいた個人情報を厳重に取り扱い、適正な個人情報の管理を実施します。

- 利用目的
お申し込み手続き、および確認の連絡
内線やイベントの受付および当日の運営
個人を特定できない方法・形式による統計資料の作成、および各種アンケートなどによる資料作成協力依頼
なお、記入された「お名前」「生年月日」などの項目を利用して、河合塾グループが主催する講習、模擬試験、イベントなどへのご参加の履歴情報と結びつけ、進学や進路決定、および学校生活にお役に立つ情報の提供をはじめとする河合塾グループからの各種ご案内をさせていただきます。
- 個人情報の提供の任意性
個人情報の提供は任意です。ただし、提供されない個人情報がある場合、左記の利用目的に記載の諸手続きや処理、またサービス提供など支障が生じる場合があります。
- 個人情報の訂正・削除
個人情報の訂正・削除を希望される場合は、その旨をお申し出ください。速やかに必要な手続きをお取りいたします。
- 個人情報の共有
個人情報の取り扱いに関する契約を取り交わした河合塾グループ内の法人(教育関連事業を営む学校法人と株式会社)が河合塾グループのご案内のため共同利用します。共同利用する法人の範囲は河合塾グループホームページをご覧ください。
www.kawai-juku.jp/privacy/#about_shared
- 個人情報の取扱いの委託
個人情報の取り扱いの一部または全部を、河合塾グループ内の法人以外に委託する場合は、個人情報を適切に取り扱っていることと認められる委託先を選定し、「個人情報の取り扱いに関する契約」を取り交わすとともに適正な管理および監督を行います。
- ご自分以外の方の個人情報の提供
お客さまが、自分以外の方の個人情報を河合塾グループに提供される際は、必ずその方から、お客さまが河合塾グループに対してその方の個人情報を提供すること、河合塾グループでの利用目的についてご同意いただいたうえで、ご提供ください。
- 中学生以下の方の個人情報の提供
ご本人が満14歳未満の方、もしくは幼児から中学生までのサービスで、個人情報をグループに提供される際は、必ずその保護者(法定代理人を含む)の方の同意のもとでご提供ください。
- 個人情報管理責任者
学生法人 河合塾 顧客情報管理部長
学校法人 河合塾 顧客情報管理部長
- 個人情報の取り扱いに関するお問い合わせ先
学校法人 河合塾 顧客情報管理部

☎0120-735-041
E-mail:kokuyaku@kawai-juku.ac.jp
受付時間:12:00~18:00
(日曜・祝日および12/31~1/3は受付を行いません。)
※お問い合わせの際に、いただく個人情報は、お問い合わせへの対応のために利用いたします。
※正確な対応と対応品質向上のため、連絡内容を録音させていただいております。

第49回 文学部の講演者・大学院生の研究内容をご紹介します。

佐々木 重洋教授 研究トピックス

- 国内では、2011年から愛知県奥三河の花祭の継承事業に関わっています。花祭の保存会、愛知県、設楽町、東栄町、豊根村などの関連自治体と協働しながら、1)記録資料の作成と一般公開、2)継承支援、3)普及啓発、に取り組んでいます。
- 文化人類学のフィールドワークの特色のひとつは、その期間の長さにあります。その過程では、当初は想定していなかった別の課題に気づいたり、その課題解決に向けて協働するようになることが珍しくありません。こうした協働の場では、机上の空論は通用しませんが、それがフィールドワークの面白さであり、醍醐味でもあります。

プロフィール

- 1993年 日本学術振興会特別研究員(DC1)。
- 1997年 京都大学大学院人間・環境学研究所博士後課程修了。
- 1997年 富山大学人文学部助教授。
- 2002年 名古屋大学大学院文学研究科助教。
- 2015年 名古屋大学大学院文学研究科教授。2017年より現職。
- 専門は文化人類学。熱帯アフリカと日本でのフィールドワークにもとづいて、主として宗教的世界観に関する比較研究を継続している。2011年より花祭の未来を考える実行委員会、文化遺産国際協力コンソーシアムなどの活動をつづけて、世界の文化的多様性の維持をめぐる実践にも取り組んでいる。

大学院生の研究内容：ジョルジュ・スーラの研究

- ジョルジュ・スーラは、19世紀後半にフランスで活動した画家です。スーラは、色を混ぜずに細かな点を緻密に重ねることで、明るい画面を作ろうとしたところに特徴があり、「新印象派」と呼ばれました。興味深いのが、スーラの点描は、時に額縁にまで及んでいるという点です。絵画と額縁の関係については、絵画は主体(エルゴン)で、額縁はあくまで付随物(パレルゴン)という考えがあります。しかし、画家によって彩色された額縁においては、この二元論は当てはまらないように思います。このように、スーラの作品を通じて、どこまでが作品で、どこからが作品ではないのか、作品を構成する要素について考察しています。(名古屋大学 文学部出身)

大学院生の研究内容：古典古代末期の叙事詩文学

- ギリシア神話のディオニュソスは主にワインの神として知られ、多くの名と姿を持つ不思議な存在です。この神が登場する「ディオニュシアカ」は謎多き物語です。なぜ主人公がディオニュソスなのか?なぜ当時は廃れていた叙事詩の形式をとったのか?なぜキリスト教が広まった時代に書かれたのか?作者ノンノスとは何者か?時に荒唐無稽とも評されるこの物語ですが、ここには千年以上にわたって受け継がれたギリシア・ローマ・エジプトの神話伝説が織り込まれています。私はこの作品の不可思議さに魅力を感じ、古代末期にディオニュソスがどのような神として理解されていたのかを明らかにすることをめざして、研究をしています。(愛知淑徳大学 文化創造学部出身)

過去の「名大研究室の扉 in 河合塾」の様子

2014~2021年度に渡って実施された「名大研究室の扉」では、各回の講演者の専門分野かつ最先端の研究内容や、大学院生の研究を志すきっかけ、研究以外の学生らしい私生活のお話などについて講演していただきました。ここでは当時の懇談会で参加者から出た質問や感想をご紹介します。

懇談会での質問(抜粋)

- 将来の進路や就職状況について
- 学部・修士・博士課程の研究の違い
- 文学部を選んだ理由
- 高校生のときにやっておけば良かったこと
- 院試について
- 「文学」を学んで役に立つこと
- 名古屋大学・大学院に入学して良かったこと

etc...

参加者の感想(抜粋)

文系分野でも理系分野が大きく関わっていることがわかり良かったです。(高1生)

進路について聞くことができたので良かったです。(高2生)

大学院のことを全然知らなかったのですが、すぐのために、大学を卒業後どうするのか良い判断材料になりました。(高卒生)

大学の講義が河合塾で聞けてとても貴重な経験でした。(中学生)

大学院生のお話は、今回受講するきっかけにもなりました。興味をもっている言語学を研究している人の話として大変有意義でした。言語文法などの「なに?」の部分に注目していきたくりました。(高卒生)

「自分の学びたいことを学べる」ということが、実体験のお話を聞いてわかり勇気づけられました。(高3生)

「とても良かったです。文系・理系の垣根は、今はほとんどないように感じました。(保護者)

過去の「名大研究室の扉 in 河合塾」の様子はこちらから!

2014年から2021年までの「名大研究室の扉 in 河合塾」の実施内容のレポートをご覧ください。
第1回~第45回の各学部講演者の話や、懇談会の内容、参加者の感想を掲載していますので、ぜひご覧ください。

河合塾 イベントレポート

検索

(閲覧はこちらから)



2022年度 名大入試オープンについて

「名大入試オープン」(年2回実施)＋スクーリング(解説講義)

河合塾の広範なネットワークにより、全国の名大志望者が受験する「名大入試オープン」は、実戦力養成に最適な模試です。受験後には、講師による「スクーリング(解説講義)」で、名大入試での頻出問題の解説、攻略法や答案の作成法をアドバイスします。

第1回 名大入試オープン: 8月14日(日)実施
第2回 名大入試オープン: 11月13日(日)実施

名古屋大学をめざすキミへ

大学の基本情報だけでなく、河合塾講師による入試で問われるポイントも動画で公開中!

詳しくはこちら▶▶

